

Kansai University Psychological Research

Miki FUKUI (*Graduate School of Psychology, Kansai University*)
Norihiro MIHO (*Faculty of Economics, Kyoto Gakuen University*)
Takahiro AOKI (*Graduate School of Psychology, Kansai University*)
Kazuaki SHIMIZU (*Faculty of Sociology, Kansai University*)
 Dimensionality of Vitality: Reliability and Validity 1

Takahiro AOKI (*Graduate School of Psychology, Kansai University*)
Kazuaki SHIMIZU (*Faculty of Sociology, Kansai University*)
 A Monte Carlo Study of Comparison among
 Factor Rotation Methods for Bi-factor Structure 13

Ryan RICHARDSON (*Graduate School of Psychology, Kansai University/Konan University,
 Hirao School of Management*)
Yukishige NAKATA (*Graduate School of Professional Clinical Psychology, Kansai University*)
 Adjustment Disorder: History and Future 23

Summaries of Doctoral Dissertations and Master's theses 31

関西大学心理学研究

第6号 2015年1月

福井未来・三保紀裕・青木貴寛・清水和秋
 バイタリティーの次元性
 — 信頼性と妥当性 — 1

青木貴寛・清水和秋
 Bi-factor 構造への解析的回転
 — モンテカルロ法による比較 — 13

Ryan RICHARDSON & Yukishige NAKATA
 Adjustment Disorder: History and Future 23

博士論文・修士論文 抄録集 31

関西大学心理学研究

第6号

関西大学大学院
心理学研究科

編集委員会

池内裕美* 雨宮俊彦 比留間太白 (*編集委員長)

編集規程

1. 本誌は、関西大学心理学研究科の機関誌として、年1回発行する。
2. 本誌の編集は、関西大学心理学研究科内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
3. 本誌は、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員ならびに教員と連名の研究者の論文の掲載にあてる。ただし、第一著者となれるのは、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員、大学院生、および研究生に限る。
4. 論文は未公開のものに限る。ただし、学会や研究会等での発表（口頭、ポスター、講演等）は除く。
5. 論文は、編集委員によって審査され、その掲載の可否が決定される。
6. 論文の原稿の長さは、表題、要約、図表・注・文献を含め、原則として、日本語論文は刷り上がり10ページ以内、英語論文は6500語以内とする。
7. 論文の構成および表記は、日本心理学会編「執筆・投稿の手びき2005年改訂版」に準拠したものとする。
8. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
9. 執筆者（第一著者）に対しては、抜刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
10. 本誌に掲載された論文の著作権は関西大学心理学研究科に帰属する。ただし、内容についての責任は著者が負う。